



無料観光アプリ 縁むすびスマートナビ

＜ご利用方法＞
QRコードをスキャン
または

縁ナビ 検索



公式サイト

(4月配信開始予定)

これまでは各市が別々のスマートフォン用観光アプリケーションを導入していましたが共通化をすることにより、観光客の皆さんが圏域を周遊しやすいようになります。日本語・英語に対応しています。

利用するには専用のアプリケーションをダウンロードする必要があります。

中海・宍道湖・大山圏域市長会とは
圏域の自治体にはそれぞれに産業や都市機能などの特徴があ

安来市は地理的・歴史的につながりのある周辺自治体とともに「中海・宍道湖・大山圏域市長会」を組織しています。今後は広報や子育て圏域市長会の取り組みを紹介します。

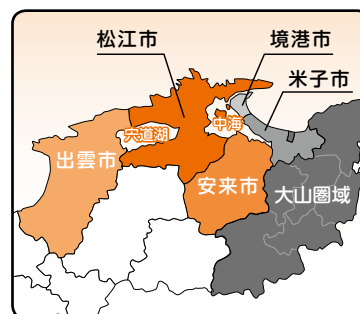
組織されました。
構成自治体は、安来市、松江市、出雲市、米子市、境港市と大山圏域（鳥取県西部7町村はオブザーバー参加）です。

ります。各市が連携・補完し合うことで、圏域全体の発展を一体的に進めることができます。行政上の共通課題等について連絡調整を行い、共通のビジョンで事業を進めることを目的に組織されました。

山陰
まんなか
共和国
平瀬・宍道湖・大山圏域市長会

中海・宍道湖・大山圏域市長会通信①

問い合わせ：市長会事務局
(☎ 0852-55-5056)



この圏域は日本海側の主要都市圏で第3位の人口集積地です。

これまでの歩み（沿革）

- ・平成6年6月…中海圏域4市連絡会議が発足。
- ・平成7年2月…中海圏域4市連絡協議会が発足。
- ・平成19年7月…中海市長会を設立。
- ・平成24年4月…中海市長会に出雲市と大山圏域を加え、中海・宍道湖・大山圏域市長会を設立。構成自治体が拡大する。
- ・平成27年7月 圏域市長会で地方版総合戦略を策定。

平成28年度の取り組み

昨年度に策定した総合戦略の目標は、「県境を越えた広域連携により、圏域人口60万人の維持を図る」です。この戦略をもとに、人口流出を防ぐダム効果を発揮させるべく、経済界とも連携し、圏域一体となり地方創生に向けた取り組みを本格的にスタートしました。

取り組みの主な事業

▼ビジネスマッチング商談・展示会…圏域外から発注企業を招致して開催しています。

▼インバウンド観光の推進…平成28年度は12月末までに33回（約4万人）のクルーズ客船が境港に寄港し、受け入れ体制を整備しました。



山陰
いいものマルシェ
in 出雲

中海・宍道湖・大山圏域を中心に、山陰の逸品を一堂に集めて販売する「山陰いいものマルシェ」が3月5日（日）、出雲市で開催されます。

良質な農水産品や加工品、伝統工芸品など山陰が誇る選りすぐりの「いいもの」が集まります。情報は専用ホームページ（<http://sanin-ijimono.jp/>）で順次更新していきます。ぜひお越しください。

■概要

・日時 3月5日（日） 11時～16時

※荒天中止（小雨決行）

・場所 JR出雲市駅北口側周辺（出雲市今市町）

・店舗 70店舗

主催 山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会